

交換留学成果報告書

記入月日: 平成30年7月 20 日

氏 名: 松井春香

留学時所属&学年: 国際地域学部3年

留学先大学	釜山外国語大学
留学先国	韓国
留学期間	半年
留学開始一終了日	2018年3月5日 - 2018年6月30日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

成果報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

大学に入る前から、留学をしたいと思っていました。国際地域学部には交換留学制度があったので良い機会だと思い、留学を決めました。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学に行く2、3か月前から始めました。
ビザの申請や、留学先に提出する書類、そして韓国についてや、留学先の大学について調べることから始めました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

派遣先の大学の情報については、福井大学のホームページから、派遣先の大学のホームページにアクセスしてfact informationを見たり、ネットで派遣先の大学を調べてみました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

TOEFLは5、6回受けました。試験対策としては、ひたすら問題集を解いたり、単語を覚えたりしていました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

福井大学のホームページ(協定校一覧が載っているページ)や国際課のサポートはとても役に立ちました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

履修を考えるのはとても大変でした。シラバスがなかったため、授業名だけではどのような授業か分からず、決めるのにとても時間がかかりました。渡航前に組んだ履修と、実際の履修とは大きく変わりました。単位認定に関しては、予定とは違い、単位認定してもらえる科目が少なかったと思います。というのも、韓国語開講科目だと、おそらく単位を認定してもらえる科目がたくさんあるはずですが、英語開講科目となると、かなり限られてくるからです。履修登録は色々なことを想定して、気になる科目をリストアップしておき、留学先に行ってから臨機応変に対応する必要があると思います。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

大学の敷地はとても広がったです。屋外にエスカレータがありました。大学には勉強できるスペースがたくさんありますが、テスト前になるとどこもいっぱいになります。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

釜山外国語大学は設備がとても充実していたと思います。大学内にカフェや食堂、コンビニエンスストアがいくつもありました。その他にも銀行やATM、郵便局、写真館、コピー室、文房具店、さらにネイルサロンもありました。ネット環境については、大学の建物内にいる時にはWiFiが使えて、とても便利でした。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

のびのびという日本語学部のサークルに入っていました。部員は約70人で、例年に比べてかなり人数が多く、日本人も私を含めて7人いました。このサークルは日本語や日本の文化を学ぶものでした。サークルに所属している学生のほとんどが日本語を話すことができます。サークルではスタディと呼ばれる日本語の勉強会、合宿、花見、そして文化体験と様々な活動をし

ました。スタディでは、特に日本語の文法を勉強していました。私たち日本人は、単語や文法の分からない部分を教えていました。スタディはだいたい6時から7時の1時間で終わったあとはみんなでご飯を食べに行ったり、カラオケやボーリングをしたりしました。韓国の大学生がどうい遊びをしているのか知ることができたいい機会でもありました。合宿は、海の近くで1泊2日で行われました。日中は海の砂浜でみんなで遊んで、夜はBBQをしたり、花火をしたりして盛り上がりました。私は、今までサークルに所属したことがなかったのでとても楽しかったです。花見は4月の桜が咲く時期に行われました。学生同士の仲を深めることを目的としていて、色々なレクリエーションをしました。文化体験では、釜山で人気の甘川文化村という観光スポットへ行き、韓国の伝統衣装であるチマチヨゴリを着ました。なかなか着る機会のないものなので、とてもいい機会になりました。夏休みに2週間ほど日本に来て日本人と交流するという活動と、釜山に日本人が来て、交流するという2つの活動が行われるのですが、私は参加できませんでした。

私はこのサークルに所属したおかげで、たくさんの韓国人の友達を作ることができ、さらに韓国語の上達にもつながりました。韓国での留學生活がとても思い出に残るものになりました。サークルに所属して本当に良かったです。

B. 授業や勉強

1. 留學先で履修した科目

No.	科目名	担当教員名	時間数/週	単位数	クラス内の人数	授業内容、課題 (予習・復習など)
1	外交論	アンドリュー先生	3	3	20	講義
2	民族国家と地球化	アンドリュー先生	2	3	4	講義 オンライン授業の動画を見て、ノートをとったりその内容についての小テストが行われる。
3	西洋の歴史	アンドリュー先生	2	3	30	同じ
4	言語タンドム	キムヨンガク先生 平中ゆかり先生	2	3	15	韓国人学生とペアになり、自分たちでテーマを決めて互いの言語や文化を教え合う。 学習日誌

5	文化タ ンデム	キムヨンガ ク先生	2	3	35	学習日誌 韓国人学生とペアになり行 われる。自分たちでテーマ を決めて話し合ったり、日本 と韓国の童謡や遊びを体験 したり、韓国料理を作る。
---	------------	--------------	---	---	----	---

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

英語開講科目の授業では授業のスタイルが講義だったため、授業を録音していつでも聞き返せるようにしていました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

タンデム授業では毎回学習日誌を韓国語で書いて提出するという課題がありました。私は最初韓国語が全くできず、読み書きすらできませんでした。なのでこの課題はとても大変でした。自分でネットで韓国語講座の動画を見たり、韓国人の友達に教えてもらったりしながら韓国語の勉強をしていました。学習日誌は最初の方は短い文章でしか書けませんが、最後の方は長い文章も書けるようになりました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

英語開講科目の授業は講義スタイルでしたが、学生に発言させる機会が多くとてもフレキシブルな授業でした。日本人は授業中に発言することがかなり少ないですが、韓国では日本と違い多くの学生が自分の考えを発言したり、質問があればその場で先生に質問したりしていました。そのため、積極的な学生が多いという印象をうけました。それに比べて日本では消極的な学生がとても多いと思います。

5. お薦めの教員や授業などがありましたら教えてください。

英語開講科目の授業は3つとも同じ先生の授業でした。アンドリュー先生はとても気さくで面白い先生で、話も聞き取りやすかったのでとてもおすすめです。

私が取った授業はどれもオススメです。特にタンデム授業をオススメします。この授業は韓国人とペアになって行われる授業なので、言語が上達したり、文化を学べるだけでなく、韓国人の友達ができます。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(2)人部屋
寮・アパート名	構内寮
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 ()
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 洗濯室、休憩室、ロビー、食堂、コンビニ、ジム

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学(寮も)坂の上にあり、上り下りするのが大変だったため、私は大学の近くのスーパーやレストランに行くというよりは、バスと電車を乗り継いで繁華街に行って買い物をしたりご飯を食べることが多かったです。大学(寮)から 20、30 分歩けば、スーパーやレストラン、カフェ、パン屋さんなど色々ありました。日本食のレストランはなかったと思います。銀行については、釜山銀行が大学の建物の中にはいたり、ATMも寮や大学の建物内にあったのでその点とても便利でした。キャンパス内や坂を下りたところにもバス停があります。大学がある日には大学の無料のシャトルバスが出ているのでそれにのると最寄りの駅にも行けます。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地銀行開設の有無について：私は銀行開設はしませんが、開設したほうが便利かもしれません。キャッシュカードがクレジットカードの役割も果たせるそうです。韓国はカード社会のため現金よりもカードの方が使う頻度が高かったです。私は留学前に、クレジットカードとキャッシュカード機能を持ったカードを作ったので、韓国ではそのカードを使っていました。現金が必要なときは、ATMで引き落としていました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

韓国では公共交通機関を利用する際に使える交通カードがあります。韓国について初日に公共交通機関を利用する機会があったため、交通カードがすぐに必要でした。私は以前韓国に旅行したことがあったため、そのカードを持っていたのでよかったのですが、カードがないと不便なので、韓国について早速交通カードを買うことをオススメします。カードは駅やコンビニでも売っていて、どちらでもチャージできます。

生活用品は無理して日本から持っていくなくても、基本的には韓国ですべてそろいます。ただ、生理用品だけは日本から持っていく方がいいと思います。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝ウォン)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	4万円	食費	約1200000ウォン
保険代	6万5720円	家賃	900000ウォン
予防接種・ビザ代	0	教科書代	約3000ウォン
交際費(外食等)	約400000ウォン	その他	約500000ウォン (洗濯、日用品、交通費)

合計： 約 40 万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

私は2人部屋の寮に住んでいました。ルームメイトはミャンマー人で、生活習慣や文化が大きく異なったため相手のことを理解するのがとても大変でした。マナーについて、韓国と日本では食事のマナーが違いました。韓国では日本のようにお皿を持って食べることは行儀が悪いとみなされるため、最初はかなり気をつけていました。はしとスプーンを使って食べる習慣があったのでこのことにも気をつけていました。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

すぐ近くには眼科があり、大学内には保健室がありました。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

しませんでした。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

渡航前に健康診断や予防接種は必要ありませんでした。

日本から持参した薬は風邪薬と、目薬くらいです。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

韓国への留学1番に得られた成果は韓国語が少しできるようになったことだと思います。最初は、私は韓国語が全く分からず、授業だけでなく生活面でも苦労しました。なので、韓国に行ったらすぐ韓国語の勉強、初めはハングルの読み書きから始めました。覚えるのに少し苦労はしましたが、覚えてしまえば意味は分からなくても韓国語を読めるようになったので、勉強するが楽しくなって、ネットで韓国語講座の動画を見て勉強していました。韓国に行ったらすぐに来た日本人の友達と参加した日本語学部のサークルをきっかけに韓国人の友達ができるので、友達と話しをしたり、遊びに行ったり、ご飯を一緒に食べることで、韓国語が少しずつ話せるようになりました。友達のほとんどが日本語を話せたので、韓国語で会話して、わからないところは日本語で説明してもらったりしていました。さらに、日本人の友達と話するときも使える韓国語はなるべく使うように心がけていました。自分1人で勉強するより、友達と実際に話をして使うことが語学力の向上につながるということを強く実感しました。話す力と聞く力が一気に鍛えられたような気がします。私は授業でタンDEM授業という、日本人学生と韓国人学生がペアになって互いに言語や文化を教え合うという授業をとっていました。この授業の課題として、毎回、学習日誌という報告書を韓国語で提出しなければなりません。さらに、韓国語でのプレゼンテーションが2回と、会話のテストが2回ありました。この授業はとても大変でしたが、韓国語の勉強にすごく役に立ちました。韓国での留學生活で一番頑張ったのは韓国語の勉強かもしれません。帰るころには、友達や店の店員やタクシーの運転手と韓国語でコミュニケーションをとれるようになるまでになりました。まだまだ韓国語は分からないことだらけですが、このことは自分にとって自信になり、今後も韓国語の勉強を続けていこうというモチベーションにつながりました。私はもともと英語圏に留学したのですが、韓国に留学してみて、英語以外の外国語を学ぶことができたため、英語圏の国では得られなかったであろうことが得られたような気がします。韓国に行く前に、韓国語を少しでも話せるようになるという目標をたてました。その目標が達成できたので韓国での留學生活で得られたものは大きかったと思います。

授業に関して、私は英語開講科目を3つ受けていましたが、専門的な授業を英語で受ける

というのは初めてでした。授業についていけるのか少し不安がありましたが、先生の授業がとても丁寧だったためなんの問題もありませんでした。受けていた授業の一つに民族国家と地球化という授業があり、私を含めて4人しか授業を受けていませんでした。なので自分の考えを発言する機会がとても多くありました。受けていた3つの授業を通して私の聞く力と話す力は向上することができたと思います。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

韓国語の授業をとることです。留学前に韓国語の勉強をたくさんしておけばよかったと反省しています。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

今後の目標としては、韓国語を勉強して、もっと話せるようになったり、理解できるようになりたいです。そしてTOPIKに挑戦したいと思います。韓国語や英語を生かして仕事をしていけたらいいと思っています。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

私は釜山外国語大学でとても楽しく充実した留学生生活を過ごすことができ、この大学を選んでとてもよかったと思っています。韓国に行つてすぐのときは韓国語がまったくわからず、読み書きもできない状態でした。同じ時期に留学していた日本人の友達と一緒に参加したサークルをきっかけに韓国人の友達ができ、韓国語も上達していきました。釜山外国語大学には、日本語学部があるため、日本語を話せる学生がたくさんいます。サークルも日本語のサークルがいくつかあります。面白いサークルがあるので参加してみるといいと思います。サークル活動を通して韓国人の友達の輪を広げることができますよ。また、国際交流センターには日本人のスタッフ、日本語が話せる韓国人のスタッフがいて、手厚いサポートを受けました。スタッフの方々はとても気さくだったので気軽に話すことができました。

韓国は食べ物がとても美味しいし、日本と比べてとても安いです。留学先で食事が口に合わないというのはつらいことですが、韓国は辛い食べものが多いだけで食事に関してはなんの問題もないと思います。さらに服やコスメも安いです。韓国は美容大国なのでパックなど美容グッズがとてもたくさんあります。韓国はパックが有名なので私はセールをしているときやセットになっているパックをたくさん買って、毎日使っていました。

留学前や、行つてすぐは慣れない環境に戸惑つたり、言葉が通じなかったり、色々な面で不安なことがたくさんあると思います。私も色々な不安がありましたが、一番つらかったことは言葉が通じなかったことです。最初の頃は部屋からでることすら億劫になるくらいでしたが、慣れてしまえば、とても楽しくなりました。私が出会った韓国人は優しい方ばかりで、たくさん助けてもらいました。とても良い経験だったと思います。留学生活は限られているので、限られた時間を楽しんで、有意義なものにしてください。

